

2 法適用企業の経営状況

(1) 損益収支

令和2年度の経常収益（営業収益＋営業外収益）は1,603億28百万円、経常費用（営業費用＋営業外費用）は1,474億81百万円となっており、経常収支比率（経常費用に対する経常収益の割合）は108.7%と収支均衡点である100.0を8.7ポイント上回っている。前年度に比べ0.5ポイント増となっている。

また、令和2年度の経常収支において経常損益が黒字であった事業は、133事業のうち119事業、133億96百万円（前年度89億98百万円）となっており、一方、経常損益が赤字であった事業は14事業、5億49百万円（前年度6億92百万円）となっている。

経常損失の状況を事業別にみると、下水道事業が73事業中6事業で2億65百万円の経常損失を生じたのを始め、水道事業（簡易水道事業を含む。）が43事業中4事業で1億13百万円、病院事業は7事業中3事業で1億40百万円、工業用水道事業は9事業中1事業で31百万円となっている。

(2) 累積欠損金

営業活動による各事業年度の損失（赤字）額が累積された累積欠損金は、令和2年度末において53億74百万円で、令和元年度末の65億62百万円に比べ、11億88百万円減となっている。

累積欠損金を有する事業は14事業となっており、事業別にみると、病院事業が7事業中4事業で37億94百万円と最も多くなっている。また、前年度との比較でみると、水道事業で31百万円増、工業用水道事業で1億10百万円増、病院事業で16億92百万円減となっている。

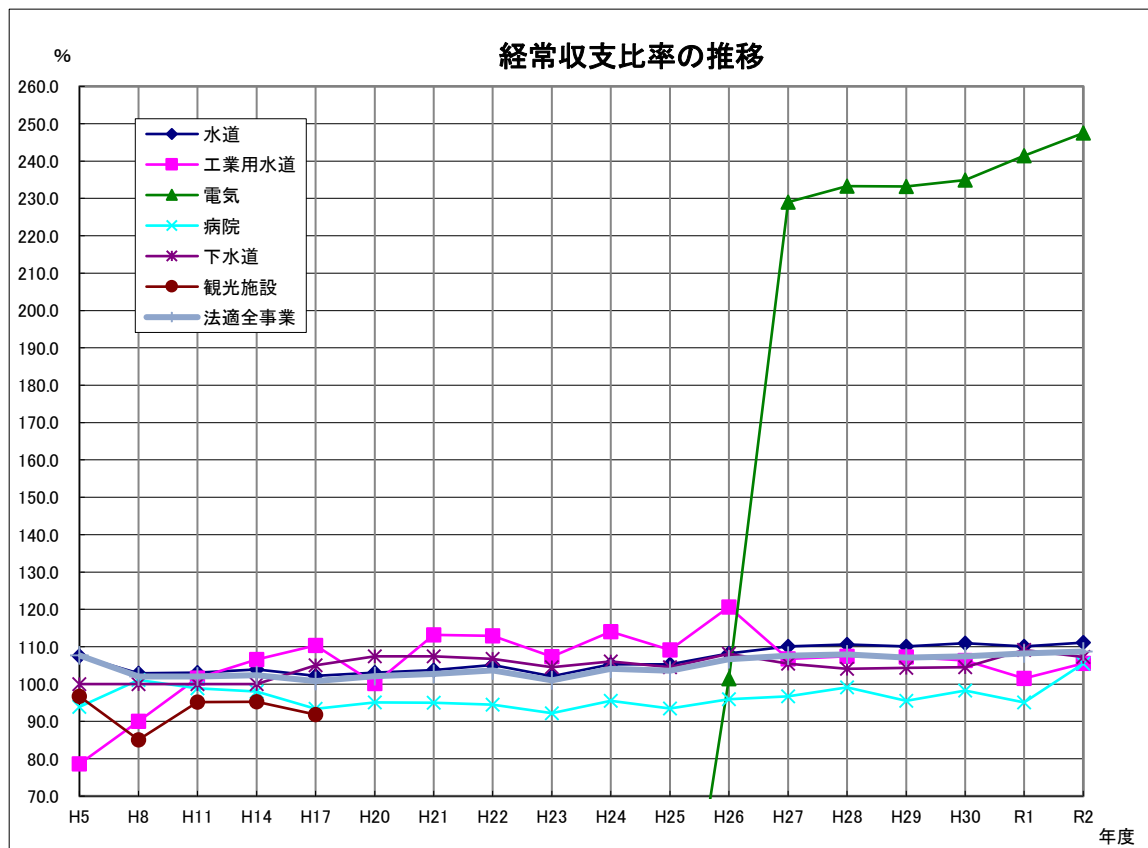
(3) 不良債務

流動負債の額が流動資産の額を超える額である不良債務を有する事業は、令和2年度末において1事業（下水道事業）で11億55百万円となっている。

法適用企業の事業別決算状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道 (簡易水道含む)	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
総収益 (A)	65,803	683	99	11,891	82,103	160,579
經常収益 (B)	65,725	683	99	11,890	81,931	160,328
営業収益	58,571	543	99	9,063	32,161	100,437
総費用 (C)	59,312	647	40	11,275	77,026	148,300
經常費用 (D)	59,140	647	40	11,272	76,382	147,481
經常損益	6,585	36	59	618	5,549	12,847
經常利益	6,698	67	59	758	5,814	13,396
經常損失 (△)	113	31	0	140	265	549
純損益 ((A) - (C))	6,491	37	59	615	5,076	12,278
累積欠損金	197	980	0	3,794	403	5,374
不良債務	0	0	0	0	1,155	1,155
事業数	43	9	1	7	73	133
うち建設中	0	1	0	0	0	1
經常損失を生じた事業数	4	1	0	3	6	14
累積欠損金を有する事業数	1	2	0	4	7	14
不良債務を有する事業数	0	0	0	0	1	1
經常収支比率(B)/(D) (%)	111.1	105.6	247.5	105.5	107.3	108.7
総収支比率(A)/(C) (%)	110.9	105.6	247.5	105.5	106.6	108.3



(4) 資本的収支

令和2年度における資本的支出は1,076億12百万円で、前年度の663億98百万円に比べて412億14百万円増加している。この内訳は建設改良費が598億90百万円で、前年度の377億58百万円に比べ221億32百万円増加しており、企業債償還金が471億13百万円で前年度の280億75百万円に比べ190億38百万円増加している。

これに対する財源は、企業債が349億50百万円、他会計繰入金が115億52百万円、国県補助金が111億11百万円となっている。

資本的支出に対する財源不足額は481億56百万円で、補てん財源は480億95百万円となっており、62百万円の補てん財源不足が生じている。また、補てん財源のうち過年度分損益勘定留保資金が31.0%を占めている。

次に企業債元利償還金の状況を見ると、令和2年度の企業債元利償還金は570億59百万円で、前年度の345億24百万円に比べ225億35百万円増加している。

料金収入に対する企業債元利償還金の割合は62.1%で前年度の46.1%に比べ16.0ポイント増加している。これを事業別にみると、下水道事業が139.2%で最も高い割合を示しており、続いて電気事業53.5%、工業用水道事業40.8%となっている。

法適用企業の事業別資本収支の状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
資本的支出	43,004	236	51	2,348	61,973	107,612
うち建設改良費	30,877	59	0	709	28,245	59,890
うち企業債償還金	12,066	177	51	1,169	33,650	47,113
資本的収入	21,487	117	0	2,020	36,249	59,873
うち企業債	16,997	16	0	540	17,397	34,950
他会計繰入金	1,827	101	0	975	8,649	11,552
国県補助金	1,715	4	0	138	9,254	11,111
財源不足額	21,517	119	51	736	25,733	48,156
補てん財源	21,517	119	51	736	25,672	48,095
補てん財源不足額	0	0	0	0	62	62

料金収入に対する企業債元利償還金

(単位:百万円)

事業	項目	料金収入 (A)	企業債 元利償還金 (B)	企業債償還金		料金中償還金 (B)/(A) (%)
				(C)	(D)	
水道		55,631	14,666	12,066	2,600	26.4
工業用水道		503	205	177	28	40.8
電気		99	53	51	2	53.5
病院		6,378	1,307	1,169	138	20.5
下水道		29,341	40,828	33,650	7,178	139.2
合計		91,952	57,059	47,113	9,946	62.1

料金収入に対する企業債元利償還金の割合

